

立命館大学

文学部 人文科学

哲学、文学、歴史学、地理学といった伝統的な学問を大切にしつつ、国際化や学際化といった社会の動きに合った取り組みも学ぶ。共通しているのは「人間の本质とは何かを考えた」という問題提起。



法学部	産業社会学部	国際関係学部	文学部
映像学部	経済学部	スポーツ健康科学部	食マネジメント学部
理工学部	情報理工学部	生命科学部	薬学部
経営学部	政策科学部	総合心理学部	グローバル教養学部

大学情報 URL <http://www.ritsumeai.ac.jp/>
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
立命館大学 入学センター
TEL 075-465-8351 (9:00~17:30)



記者の目 立命館大学はこんな大学

周辺には有名なお寺が並び風光明媚なロケーションにある京都の衣笠キャンパス。歴史と伝統が息づく場所で、故きを生かし、新しいものを学べる大学だと思いました。講義でも学生生活でも、新しいスタイルで自分らしさを発信する学生さんが多い印象です。

将来は出版社で仕事ができればいいな

文章を書くことを学んだ経験を生かして、出版社で仕事ができればいいなと思っています。大学生活では音楽サークルに打ち込みました。いろいろな人たちがいる多様性に満ちた大学です。



新田 麻衣さん
文学部 コミュニケーション学域 言語コミュニケーション専攻2020年卒 / 愛知県 私立 愛知淑徳高校卒

Information

入試情報

●立命館大学の一般選抜
2021年度の一般選抜においては、入試の枠組みを大きく変更しません。入試方式や出題形式等も基本的には大きく変更しないこととしています。
●一般選抜は全国34試験地で受験可能
千葉(柏)会場を新設します。詳細は11月公開予定の「2021年度一般選抜入試試験要項」でご確認ください。
●「WEBでみる入試説明会」を公開中
説明会形式で大学の特長や入試のポイントを紹介しています。詳しくは「立命館大学入試情報サイト」をご確認ください。



Topics

文学部最新情報

今回授業を紹介した「コミュニケーション学域」は、2020年度カリキュラム改革で「国際コミュニケーション学域」と「言語コミュニケーション学域」に生まれ変わりました。
◆国際コミュニケーション学域
▽英語圏地域の文化を学び、英語の多様性と奥深さを極める
・専門を学ぶための英語教育が充実
・約半数の専門科目で、英語による授業を実施
◆卒業論文は英語で執筆
◆言語コミュニケーション学域
▽ことばとコミュニケーションに関わる多様な問いを探究し実践する
・幅広いコミュニケーションの領域を実践的に学ぶ
・日本語教員養成プログラムの充実

「塩だれカツ丼」
(M) ¥378
衣笠キャンパスの食堂で食べられるメニュー。塩だれがおいしいです。のりが載っているのもポイントです。
井上 詩野さん

※メニューは週替わりのため常時提供されてはいません。



本日の講義
5.8(水)
at 衣笠キャンパス
13:00~14:30

言語コミュニケーション 特殊講義

この講義で学ぶこと

読む、書く、創る(＝表現)という行為、フィクションとかたち、言葉遊び・リズム、創り手の生きる社会との関わりなどを学ぶ。

書くこと創るを体験 最強の一冊を紹介

「この講義では、表現の理論の研究と併せて実践にも取り組みます」と西岡先生。インプットとアウトプットを通じて、「読む」「書く」「創る」を体験する。「文字と音声と図像はメディアをすみ分けているだけ。小説などの文字による文学がすべてではないことは随分前から明らかなのに、学問の世界ではなかなか共有されません。教員の年代とは異なる若い感性の未来に、彼らにとって最良の形で文学をつないでほしいと思っています」と西岡先生は講義の狙いを語る。

ビブリオバトルも!

若い感性で創造を体験



講義の後半にはビブリオバトルがある。学生同士が本を紹介しあい、最も読みたい本を投票する試みだ。「私が本を紹介する旧式のスタイルより、学生同士が熱く語るほうが興味を持つ」と西岡先生。今これがいちばんおすすめという「最強の一冊」、あるいは自分が表現活動と出会った「原点の一冊」を紹介しあう。受講する学生たちには小説の創作をはじめ、演劇を創ったりミュージカルを演じたり、表現活動を行っている人も多という。



本日の講義
5.8(水)
at 衣笠キャンパス
14:40~16:10

専門演習I

この講義で学ぶこと

英語の歴史や英語の変化、英語普及の長所と短所、アジアやアフリカにおける新しい英語などさまざまなテーマを英語で学ぶ。

講義はすべて英語 英語力を鍛える

この講義は英語力を鍛えるためのゼミナールである。英国出身のマイケル先生がすべて英語で講義し、学生たちは英語でプレゼンテーションする。このゼミナールでは卒業論文も英語で書く。

この日の講義は、英語を母語としない人が話すELF (English as a Lingua Franca) の紹介だ。「世界で英語を話す人のうち、80%はノン・ネイティブ。アメリカとイギリスの英語が世界で唯一の英語ではないことを日本の学生が理解することは重要です」とマイケル先生。

ノン・ネイティブの英語について 英語で討論し発表する



講義では英語のコミュニケーションに必要な適切な発音、語彙、文法などを学ぶ。マイケル先生がテーマを提示し、学生たちは4〜5人のグループになってディスカッション。その結果を英語で発表していく。また、ELFについて話す研究者のインタビュービデオを見て、英語で質問に答えていく。
学生の一は「プレゼンテーションも論文もすべて英語で行われる。グローバル化を見据えた働き方を目指すとき、いい経験になると思う。英語を駆使して日本の魅力を発信していきたい」と話す。

西岡 亜紀先生に聞きました

今日の講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか?

A 文字による小説と視覚のメディアは地続きです。正統派の文学を視覚中心の現代や未来の文芸のなかに生き残らせる。そんな人たちが育ちます。



Profile

お茶の水女子大学文教育学部外国文学科仏語仏文専攻卒業。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科日本語文化専攻修士課程修了。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化専攻博士課程後期課程修了。【取得学位】博士(人文科学)(お茶の水女子大学)。明治大学、立教大学、東京経済大学、明治学院大学などの講師を経て2015年より立命館大学文学部・准教授。

Michael James Davies先生に聞きました

今日の講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか?

A これから英語を話す相手の多くはアジア諸国の人々になるでしょう。グローバルな世界に向けて、この講義はより良い準備になります。



Profile

University of Plymouth Biology of Science卒業。University of Surrey Post Graduate Certificate of Education卒業。University of Sheffield Advanced Japanese Studies修士課程修了。University of Southern Queensland Applied Linguistics修士課程修了。佛教大学英米学部常勤講師、京都産業大学外国語学部常勤講師などを経て現在、立命館大学文学部教授。

※講義は2019年に取材したものです。